

存続・廃止振り分け方法について (客観的指標による区間別総合評価)

【議論いただきたいポイント】

- ・区間別総合評価（存続候補・変更候補・廃止候補）の振り分け方法について
- ・必要性の評価結果（大中小）の振り分け方法について

目 次

1 . 客観的指標による区間別総合評価	1
1 - 1 . 第 1 回都市計画道路見直しにおける総合評価の考え方	1
1 - 2 . 今回の都市計画道路見直しにおける総合評価の考え方	2

1 . 客観的指標による区間別総合評価

長野県「都市計画道路見直し指針（平成 18 年 3 月）」（以下、「県見直し指針」という。）に示される「見直しの進め方」を参考として、都市計画道路の「必要性」、「代替性」、「実現性」の評価結果を踏まえ、区間別総合評価（存続候補・変更候補・廃止候補）を実施する。

1 - 1 . 第 1 回都市計画道路見直しにおける総合評価の考え方

第 1 回都市計画道路見直し（平成 23 年 3 月）（以下、「第 1 回見直し」という。）では、下図に示す手順に基づき、「存続候補」、「変更候補」、「廃止候補」の振分けを行っている。

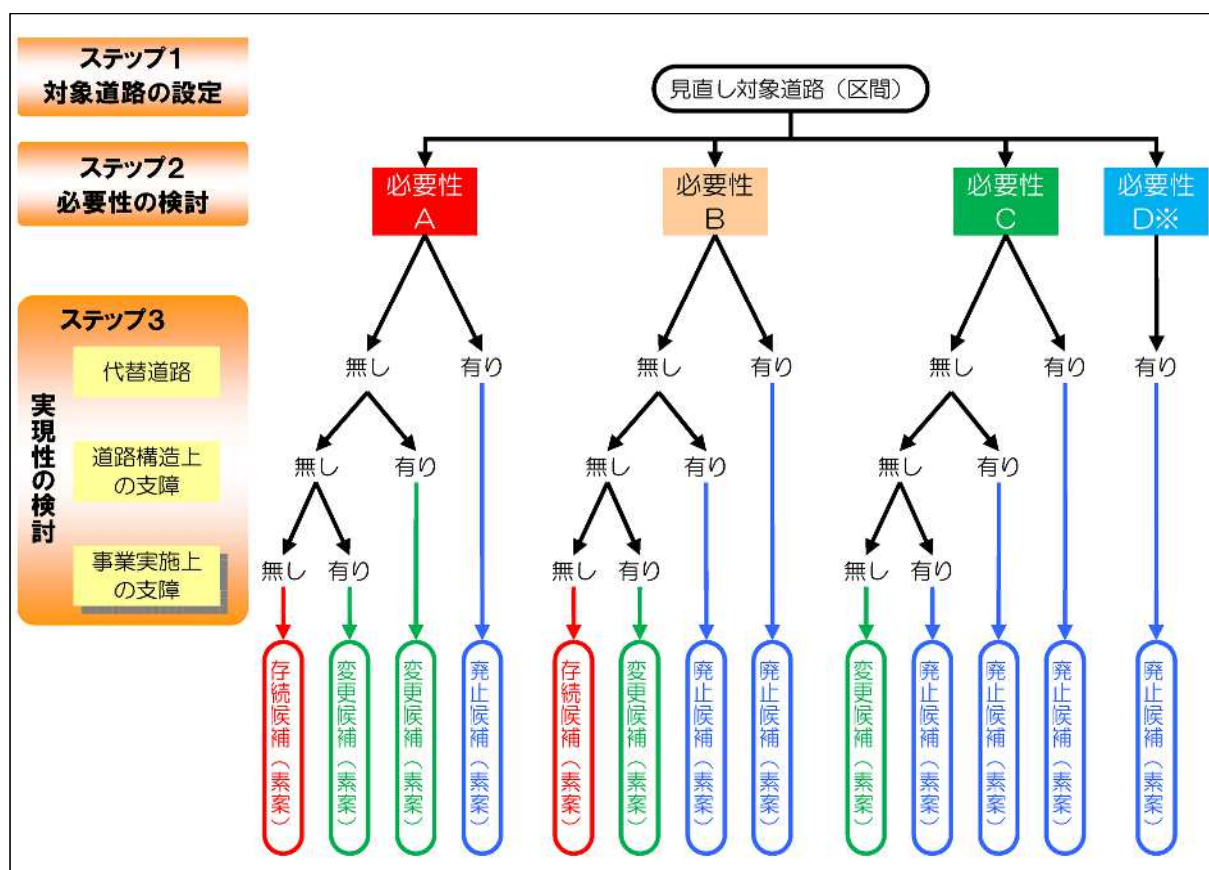


図 【参考】見直し道路網（案）の設定手順（第 1 回見直し）

出典：松本市「松本市総合都市交通計画 都市計画道路の見直し（平成 23 年 3 月） P.42」

1 - 2 . 今回の都市計画道路見直しにおける総合評価の考え方

県見直し指針に示される「見直しの進め方」を参考としつつ、第1回見直しにおける総合評価の考え方を基本的に踏襲し、以下の手順により、区間別総合評価（存続候補・変更候補・廃止候補）を実施する。

▼ 客観的指標による区間別総合評価の手順（案）

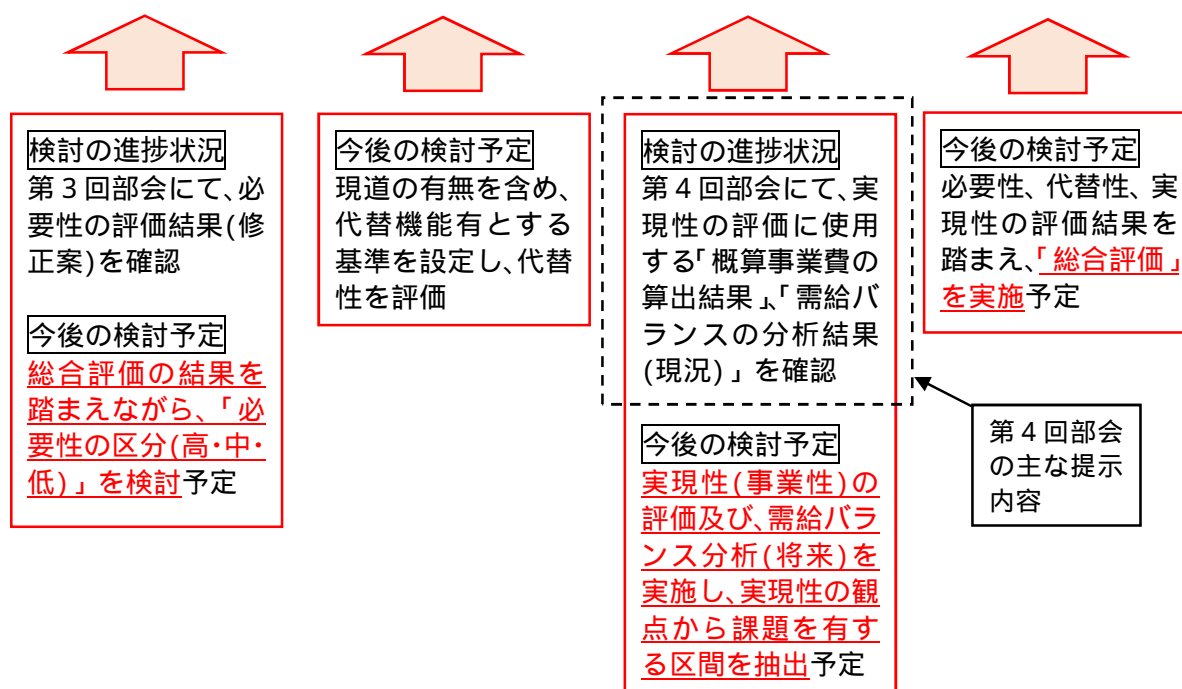
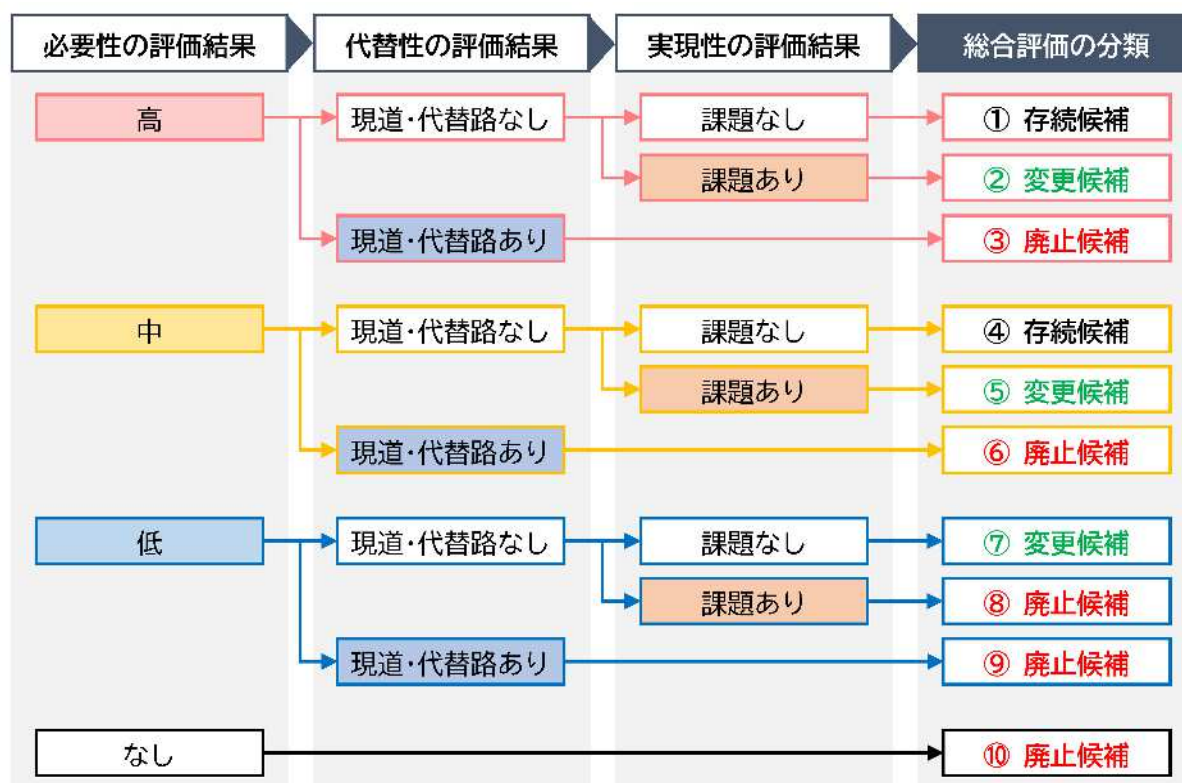


表 客観的指標による総合評価の分類と考え方

総合評価の分類	総合評価の考え方
存続候補	・ 必要性が高く、周辺に機能を代替する道路がない。 ・ 実現性に課題がないことから、「<u>存続候補</u>」とする。
変更候補	・ 必要性が高く、周辺に機能を代替する道路がない。 ・ 実現性に課題があることから、「<u>変更候補</u>」とする。
廃止候補	・ 必要性が高いが、周辺に機能を代替する道路がある。 ・ 既存ストック活用の観点から、「<u>廃止候補</u>」とする。
存続候補	・ 必要性は中位で、周辺に機能を代替する道路がない。 ・ 実現性に課題がないことから、「<u>存続候補</u>」とする。
変更候補	・ 必要性は中位で、周辺に機能を代替する道路がない。 ・ 実現性に課題があることから、「<u>変更候補</u>」とする。
廃止候補	・ 必要性は中位だが、周辺に機能を代替する道路がある。 ・ 既存ストック活用の観点から、「<u>廃止候補</u>」とする。
変更候補	・ 必要性が低く、周辺に機能を代替する道路がない。 ・ 実現性に課題がないが、必要性が低いことから、廃止の検討も含めた「<u>変更候補</u>」とする。
廃止候補	・ 必要性が低く、周辺に機能を代替する道路がない。 ・ 実現性に課題があることから、「<u>廃止候補</u>」とする。
廃止候補	・ 必要性が低いが、周辺に機能を代替する道路がある。 ・ 既存ストック活用の観点から、「<u>廃止候補</u>」とする。
廃止候補	・ 必要性がないことから、「<u>廃止候補</u>」とする。

表 見直しの分類の定義

分類	定義
存続候補	現計画のまま存続することが望ましいと考えられる区間。
変更候補	幅員変更や交差点部等の変更、部分的なルート変更等を行うことが望ましいと考えられる区間。
廃止候補	道路の必要性が低い、代替性がある、実現性に問題があるため、現計画の廃止を含めた方向で検討を行うことが望ましいと考えられる区間。